

船舶事故等調査報告書

平成26年5月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第8号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成26年2月13日 09時02分ごろ
発生場所	岩手県釜石市釜石港の公共ふ頭－11m岸壁 釜石港北防波堤灯台から真方位185°425m付近 （概位 北緯39°16.0′ 東経141°53.7′）
事故等調査の経過	平成26年2月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 <small>フンゴ</small> BUNGO PRINCESS（パナマ共和国籍）、6,736トン
船舶番号、船舶所有者等	9496654（IMO番号）、BUNGO WORLD SHIPPING SA
乗組員等に関する情報	船長（フィリピン共和国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船尾部に凹損等 岸壁 コンクリートが剝離
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか16人（全員フィリピン共和国籍）が乗り組み、スチール製ワイヤーロードを積載し、船橋で船長が操船指揮を執り、三等航海士が主機操縦レバーの操作に、甲板手が手動操舵にそれぞれ当たり、タグボート1隻を右舷方に配置し、入船左舷着けしていた釜石港の南棧橋から離棧作業を開始した。</p> <p>本船は、タグボートに船尾を引かれて南棧橋先端を過ぎた頃、機関を中立にし、船長が、タグボートに離れるように指示を行い、タグボートが離れた後、機関を前進にかけたが、後進の行きあしが止まらず、平成26年2月13日09時02分ごろ南棧橋南側の釜石港の公共ふ頭－11m岸壁（以下「本件岸壁」という。）に左舷船尾部が衝突した。</p> <p>本船は、自力航行して検疫錨地に錨泊し、船長は、損傷状況を確認した後、海上保安庁に通報した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：波高 約3m、波向 東、潮汐 低潮時</p> <p>釜石市には、2月13日04時11分強風注意報が発表されていた。</p>
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし

<b>気象・海象の関与 判明した事項の解析</b>	なし 本船は、釜石港の南棧橋から離棧作業中、機関を前進にかけたが、後進の行きあしを制御できなかったことから、本件岸壁に衝突したものと考えられる。
<b>原因</b>	本事故は、本船が、釜石港の南棧橋から離棧作業中、機関を前進にかけたが、後進の行きあしを制御できなかったため、本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 離棧作業中においては、行きあしの制御を適切に行うこと。